

令和6年度 学校だより（令和6年4月30日発行）

北海道美唄尚栄高等学校

〒072-0024美唄市西1条南6丁目1番1号

Tel & Fax 0126 64 2277(事務室/FAX)

0126-64-2275(職員室)

URL <http://www.bshoei.hokkaido.c.ed.jp/>

E mail:bshoei.z0@hokkaido.c.ed.jp



かなうさ!
4月号



われら 向かい風 立ち向かう 美唄尚栄高校生

校長 升田 重樹

令和6年度が始まりました。保護者ならびに美唄地域の皆さまには、常日頃から本校の教育活動に御理解とあたたかい御支援、御協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。また、入学生の保護者の皆さまには御入学に際し心よりお祝い申し上げます。

あらためまして美唄尚栄高等学校長の升田重樹と申します。令和4年4月に着任して3年目になります。令和6年度もどうぞよろしくお願いたします。

私は年度当初の始業式の講話と、入学式の式辞において、本校の校歌について触れました。校歌は1～3番まであります。特に3番目の歌詞は、美唄尚栄高校生としてどう進むべきかということが示されていることを在校生及び新入生に伝えました。内容はつぎのとおりです。

なにより淨らかなもの 名もなきひと うつろい儚きもの 富 栄華

二度とは帰らぬ 青春の 時がこぼれる 砂時計

われら 向かい風 立ち向かう 美唄尚栄高等学校

1 なにより淨らかなもの 名もなきひと

名もなき人とは 成功者や著名人と世で騒がれている人たちだけが誰かに影響を与え、進むべき正しい道を示してくれるわけではないということです。

家族や近所の方たちや先生たちなど、身近にいるすべてのひとが名もなき人と言ってよいでしょう。日頃皆さんの周りには名もなき人たちが世の中をつくり、名もなき人たちから人生に必要な多くのことを学び成長を遂げるということです。

2 うつろい儚きもの 富 栄華

この世の中は常に移り変わっています。富や栄華、豊かな財産や財力により潤い贅沢することは儚き(はかなき)ものである。つまり、それは一時的なものでいいことばかりだけが永遠に続くわけではないということです。これは学校生活も同じです。

3 二度とは帰らぬ 青春の時がこぼれる砂時計

青春とは、人生における若々しく元気で力にあふれる時、正に高校生活そのものが青春の時です。砂時計というのは腕時計などとは違い、今何時かなど確認することはできません。高校生活三年間という砂時計は、この瞬間も常に砂がこぼれていっているということです。こぼれた砂は元に戻すことはできません。高校生活という青春の今日という時は、過ぎ去ったら二度とは戻らない帰らざる貴重な日々だということです。

4 われら向かい風 立ち向かう 美唄尚栄高等学校

高校は、多くの人々と関わりながら、悩み、苦しみ喜び、楽しみ、様々な体験や経験を通じて勉強のみならず、人としての在り方・生き方を学ぶ場です。

なにかいいことがないかなと思ってばかりいても追い風は吹いてくれません。自らの希望や目標をしっかりと持ち、困難なことにも立ち向かい挑戦することにより、将来への道は必ず切り開かれます。様々な向かい風に立ち向かう、たくましい美唄尚栄高校生になることを期待しています。

ようこそ!! 美唄尚栄へ。4月8日入学式 (R06.04.08)

4月8日(月)令和6年度入学式が挙行され、51名の入学が許可されました。

会場には保護者の皆様に加え、多くのご来賓の臨席を賜りました。真新しい制服に実を包んだ51名の新入生は、緊張の中にも背筋をピンと伸ばし、ひとりひとりがしっかりと呼名に答える姿はとても素敵でした。みなさんが一日も早く学校に慣れ、充実した高校生活を送れるよう応援しています。1組は浦田和俊先生、2組は三原経敬先生が担任されます。



新入生歓迎会 美唄尚栄のことを積極的に知ろう!! (R06.04.09)

4月9日(火)6校時に新入生歓迎会が行われました。生徒会行事の説明、部活動紹介が行われ、各部活動も部の魅力をパフォーマンスなど交えながら1年次生に紹介してくれました。新入生は学校の様々なところを早く知って尚栄生としての自分を確立していこう。



1年生 宿泊研修 新たな仲間を知る時間。(R06.04.23 → 04.25)

ネイパル深川において、集団活動研修を行いその中でいろいろなことを学ぶ機会が設けられました。

